



令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意識や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 土浦市立土浦第五中学校 】

1 実践テーマ	V
2 実施対象者 (学年・人数)	第1学年・160名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○オリンピック・パラリンピックに関心をもち、個人課題を追究することができる。また、学んだことをまとめたり、発信したりすることができる。 ○オリンピックによる授業を通して、何事にも挑戦してみることの大切さに気付き、自己の生活に生かすことができる。
5 取組内容	(1) 事前学習 ① オリンピック・パラリンピックについて調べよう 興味のあるオリンピック・パラリンピック種目についてそれぞれが調べ学習を行い、調べたことを新聞にまとめた。 ② オリンピック・パラリンピックに関する掲示物の作成 生徒が作成した新聞と関連して、様々な種目について知ってもらうための掲示物をクイズ形式で作成した。知っている種目はもちろん、初めて知る種目にも目を向けられるよう工夫した。 (2) オリンピアン（流通経済大学教授 田中光先生）による体育（器械運動）の授業 実施日 1月21日（木） ① 1校時 1年2組 32名 マット運動、跳び箱運動の実技指導

	<p>② 2校時 1年1・3組 65名 マット運動、跳び箱運動の実技指導 ③ 3校時 1年4・5組 63名 マット運動、跳び箱運動の実技指導</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 事後学習 オリンピック・パラリンピック・ムーブメントを詳しく学ぼう。 「I'm POSSIBLE」を活用したオリンピック・パラリンピックについて知る授業を保健体育にて実施</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「パラリンピックって何だろう」 ② 「パラリンピックスポーツについて学ぼう」
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞形式の調べ学習では、それぞれが興味をもった種目を選択することで、インターネットや本を活用しながら興味をもって学習することができた。更に、それぞれが作成した新聞を掲示し、互いに見合うことで、知識を広げることができた。 ○ オリンピアンによる実技指導・実演では、生徒は自分もやってみようという意欲をもちながら取り組むことができた。また、『『できる・できない』ではなく、『小さなできた（成功体験）』をたくさん感じる大切であり、その小さな成功体験が積み重なって大きな成功（自信）になる。』という話を田中先生がしていた。授業の中では、それぞれの小さな成功を感じられる場面が多くあり、生徒は嬉しそうな表情をしていた。 ○ 「I'm POSSIBLE」を用いた保健体育授業では、オリンピック・パラリンピックについて理解を深めることができた。特に、パラリンピックの映像やパネルはとても分かりやすく、クイズ形式で考えられる場面もあったので、楽しく学ぶことができた。
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピアンを招いての授業は、実施学年が器械運動の授業を学習した後に実施したので、これまでの学習の発展的学習として位置付けることができた。当日は、活動が中心だったので生徒も楽しく取り組めた。 ○ 昨年度に引き続きの事業実施だったので、活動内容を更に広げながら実施することができた。オリンピック・パラリンピックに主体的に関わろうとする生徒の姿勢を見ることができた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり、実施が危ぶまれた。当初予定していた活動計画と変更になった部分があった。 ○ 上記の理由で、講師による保健体育の実技授業のみで終わってしまったが、時間があれば、講話の場面も作ることで、スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの意義についてより深い学びにつながったのではないかと感じる。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京オリンピック・パラリンピックに向けて、これまでの2年間の取組を踏まえ、次年度以降も、オリンピック・パラリンピック教育プログラムを積極的に活用した授業実施や、講師等を招いての体験学習を取り入れていきたい。 ○ 教科等横断的な学習につなげることで、オリンピック・パラリンピックを題材に、多面的・多角的に学ぶことのできる機会としたい。